

ワシントン条約附属書掲載種
オオトカゲ類識別マニュアル



2010年（平成22年）3月

環境省自然環境局

目次

1. マニュアルの目的	1
2. 規制の概要	1
(1) 輸出入の規制	
(2) 国内での譲渡し等規制	
(3) 掲載種の輸入量	
3. オオトカゲ類の特徴	5
(1) 外部形態の特徴	5
(2) 人との関わり	13
4. オオトカゲ類各種の形態的特徴	14
・キイロオオトカゲ	15
・ニシベンガルオオトカゲ	17
・ヒガシベンガルオオトカゲ	19
・サバクオオトカゲ	21
・コモドオオトカゲ	23
・レースオオトカゲ	25
・デュメリルオオトカゲ	27
・ミズオオトカゲ	29
・コガネオオトカゲ	33
・サバンナオオトカゲ	35
・イワオオトカゲ	37
・ナイルオオトカゲ	39
・ミドリホソオオトカゲ	41
・ハナブトオオトカゲ	43
・マングローブオオトカゲ	45
5. 資料	48
・オオトカゲ科分類表	49
・参考文献	52

1. マニュアルの目的

日本において、オオトカゲ類は一部のマニアの間で愛玩動物としての人気が高く、日本にはペット用に多数の生きたオオトカゲ類が輸入されている。一方、ワシントン条約附属書 I 掲載種であるサバクオオトカゲ、キイロオオトカゲ等においては、商業目的での輸出入は原則禁止されており、本邦内においては「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(種の保存法)に基づき譲渡し等が規制されている。

本マニュアルは、国内におけるオオトカゲ類の適性な流通管理を行うため、附属書 I 掲載種のオオトカゲ類、及びそれらの類似種等を取り上げ、見分けるための形態的特徴を分かりやすくまとめたものである。

2. 規制の概要

(1) 輸出入の規制

絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約：ワシントン条約 (CITES)

ワシントン条約附属書は、種の絶滅のおそれの程度と種の存続に対する国際取引の影響度が考慮され、3つのカテゴリー (I、II、III) に分けられている。そしてそれぞれの附属書に応じた取引規制が決められている。日本は、「外国為替及び外国貿易法 (外為法)」及び「関税法」により同条約に基づく国際取引規制を行っている。

本マニュアルで扱うオオトカゲ類は、以下のとおり全て附属書 I または II に掲載されている。

	附属書 I	附属書 II
掲載基準	絶滅のおそれのある種で、取引により影響を受けている又は受けるおそれのあるもの	現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
附属書掲載種	キイロオオトカゲ、 ニシベンガルオオトカゲ、 ヒガシベンガルオオトカゲ、 サバクオオトカゲ、 コモドオオトカゲ	附属書 I 掲載種以外の全種 レースオオトカゲ、デュメリルオオトカゲ、 ミズオオトカゲ、コガネオオトカゲ、 サバンナオオトカゲ、イワオオトカゲ、 ナイルオオトカゲ、ミドリホソオオトカゲ、 ハナプトオオトカゲ、 マングローブオオトカゲ 等
輸出入規制の内容	・ 商業目的の国際取引は禁止 ・ 学術研究を目的とした取引が可能 ・ 輸出国、輸入国双方の政府の発行する許可書が必要	・ 商業目的の国際取引が可能 ・ 輸出国政府の発行する輸出許可書が必要

(参考) ワシントン条約掲載種一覧 (経済産業省 HP)

http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/boekikanri/cites/index.html

(2) 国内での譲渡し等規制

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律：種の保存法

ワシントン条約附属書 I 掲載種は、種の保存法に基づき国際希少野生植物種として指定され、譲渡し等（あげる、売る、貸す、もらう、買う、借りる）が原則禁止されている。規制対象には、個体（生体、死体、はく製）や、その加工品が含まれる。また一部の種においては器官（羽、皮、毛等）も含まれる。

(参考) 種の保存法の解説（環境省 HP）

<http://www.env.go.jp/nature/yasei/hozonho/espa3.html>

(3) その他関連法令

動物の愛護及び管理に関する法律；動物愛護管理法

本資料で取り扱っている種を含む以下の種については、動物愛護管理法による特定動物に指定されており、飼育及び保管を行うにあたっては、都道府県知事の許可を受ける必要がある。

特定動物：ハナブトオオトカゲ、コモドオオトカゲ

(4) 掲載種の原産国が日本に輸出するために発行した輸出許可数

1975 年から 2009 年までに原産国が日本に輸出するために発行した輸出許可数を、ワシントン条約の WEB サイト (<http://www.cites.org/>) にある取引データベースを用いて表に示した。（次ページより）。

日本がワシントン条約に加入する以前の 1980 年までは、許可書の発行数が 0 件となっている種もあるが、加盟国でなければ輸入の際に輸出許可書は必要ないため、1980 年までにこれらの個体が日本に輸入されていないことを意味するわけではない。

掲載種の諸外国から日本への輸出許可数一覧（1975～2009年）

ワシントン条約附属書Ⅰ掲載種
ワシントン条約附属書Ⅱ掲載種

学名	和名	1975	1976	1978	1979	1980	1981	1982	1983
<i>Varanus flavescens</i>	キイロオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus bengalensis</i>	ニシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus nebulosus</i>	ヒガシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus griseus</i>	サバクオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus komodoensis</i>	コモドオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus varius</i>	レースオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus dumerilii</i>	デュメリルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus salvator</i>	ミスオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	119
<i>Varanus melinus</i>	コガネオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus exanthematicus</i>	サバンナオオトカゲ	0	0	0	0	0	8	5	6
<i>Varanus albigularis</i>	イワオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus niloticus</i>	ナイルオオトカゲ	0	0	0	0	0	2	0	6
<i>Varanus prasinus</i>	ミドリホソオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus salvadorii</i>	ハナブトオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus indicus</i>	マングローブオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus spp.</i>	その他のオオトカゲ属	0	0	0	0	0	138	58	0

学名	和名	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
<i>Varanus flavescens</i>	キイロオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus bengalensis</i>	ニシベンガルオオトカゲ	334	10	148	0	0	0	0	0
<i>Varanus nebulosus</i>	ヒガシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus griseus</i>	サバクオオトカゲ	0	0	2	2	0	0	0	0
<i>Varanus komodoensis</i>	コモドオオトカゲ	0	2	0	2	0	0	0	0
<i>Varanus varius</i>	レースオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus dumerilii</i>	デュメリルオオトカゲ	0	0	0	0	0	11	51	79
<i>Varanus salvator</i>	ミスオオトカゲ	450	385	271	390	928	19096	582	280
<i>Varanus melinus</i>	コガネオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus exanthematicus</i>	サバンナオオトカゲ	15	140	100	65	77	460	905	902
<i>Varanus albigularis</i>	イワオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus niloticus</i>	ナイルオオトカゲ	13	168	67	20	33	302	231	798
<i>Varanus prasinus</i>	ミドリホソオオトカゲ	0	0	0	0	4	287	10	0
<i>Varanus salvadorii</i>	ハナブトオオトカゲ	0	0	0	0	2	18	16	24
<i>Varanus indicus</i>	マングローブオオトカゲ	0	4	0	0	15	197	170	53
<i>Varanus spp.</i>	その他のオオトカゲ属	2	6	2	36	0	66	110	412

学名	和名	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
<i>Varanus flavescens</i>	キイロオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus bengalensis</i>	ニシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus nebulosus</i>	ヒガシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus griseus</i>	サバクオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus komodoensis</i>	コモドオオトカゲ	0	0	0	2	0	0	0	0
<i>Varanus varius</i>	レースオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus dumerilii</i>	デュメリルオオトカゲ	139	192	86	30	97	123	124	143
<i>Varanus salvator</i>	ミスオオトカゲ	255	635	251	169	499	531	2911	387
<i>Varanus melinus</i>	コガネオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus exanthematicus</i>	サバンナオオトカゲ	892	1298	1134	902	1648	1214	491	472
<i>Varanus albigularis</i>	イワオオトカゲ	0	220	109	50	124	114	97	117
<i>Varanus niloticus</i>	ナイルオオトカゲ	552	454	859	975	1040	479	1236	598
<i>Varanus prasinus</i>	ミドリホソオオトカゲ	0	70	31	0	24	75	27	102
<i>Varanus salvadorii</i>	ハナブトオオトカゲ	14	37	23	6	42	51	39	42
<i>Varanus indicus</i>	マングローブオオトカゲ	275	448	404	260	123	169	95	2
<i>Varanus spp.</i>	その他のオオトカゲ属	501	658	248	39	226	290	424	416

ワシントン条約附属書Ⅰ掲載種

ワシントン条約附属書Ⅱ掲載種

学名	和名	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
<i>Varanus flavescens</i>	キイロオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus bengalensis</i>	ニシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus nebulosus</i>	ヒガシベンガルオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus griseus</i>	サバクオオトカゲ	0	0	5	0	0	0	0	0
<i>Varanus komodoensis</i>	コモドオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus varius</i>	レースオオトカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Varanus dumerilii</i>	デュメルルオオトカゲ	95	87	38	13	61	89	108	86
<i>Varanus salvator</i>	ミズオオトカゲ	420	529	594	508	1551	577	753	732
<i>Varanus melinus</i>	コガネオオトカゲ	0	0	3	0	40	35	86	80
<i>Varanus exanthematicus</i>	サバンナオオトカゲ	981	855	939	824	832	947	560	640
<i>Varanus albigularis</i>	イワオオトカゲ	123	66	97	143	97	90	202	76
<i>Varanus niloticus</i>	ナイルオオトカゲ	575	723	524	488	298	355	214	69
<i>Varanus prasinus</i>	ミドリホソオオトカゲ	40	70	12	27	102	46	95	35
<i>Varanus salvadorii</i>	ハナブトオオトカゲ	28	40	18	23	20	22	27	10
<i>Varanus indicus</i>	マングローブオオトカゲ	30	5	112	127	65	147	142	19
<i>Varanus spp.</i>	その他のオオトカゲ属	328	385	453	580	609	502	657	457

学名	和名	2008	2009	合計 (1975~2009年)
<i>Varanus flavescens</i>	キイロオオトカゲ	0	0	0
<i>Varanus bengalensis</i>	ニシベンガルオオトカゲ	0	0	492
<i>Varanus nebulosus</i>	ヒガシベンガルオオトカゲ	0	0	0
<i>Varanus griseus</i>	サバクオオトカゲ	0	0	9
<i>Varanus komodoensis</i>	コモドオオトカゲ	0	0	6
<i>Varanus varius</i>	レースオオトカゲ	0	0	0
<i>Varanus dumerilii</i>	デュメルルオオトカゲ	0	0	1652
<i>Varanus salvator</i>	ミズオオトカゲ	70	0	33873
<i>Varanus melinus</i>	コガネオオトカゲ	0	0	244
<i>Varanus exanthematicus</i>	サバンナオオトカゲ	143	0	17455
<i>Varanus albigularis</i>	イワオオトカゲ	52	0	1777
<i>Varanus niloticus</i>	ナイルオオトカゲ	0	0	11079
<i>Varanus prasinus</i>	ミドリホソオオトカゲ	0	0	1057
<i>Varanus salvadorii</i>	ハナブトオオトカゲ	0	0	502
<i>Varanus indicus</i>	マングローブオオトカゲ	0	0	2862
<i>Varanus spp.</i>	その他のオオトカゲ属	5	0	7608

3. オオトカゲ類の特徴

オオトカゲ類は、分類学的には爬虫綱有鱗目トカゲ亜目オオトカゲ科オオトカゲ属に属する。全長 20cm ほどの種からきわめて大型（同 3 m）に達する種を含み、全長 1 m を超える大型の種が目立つことからこの名がある。英語では monitor（モニター）と呼ばれる。オーストラリア、ニューギニアから東南アジア、ユーラシア、アフリカのそれぞれ熱帯域を中心に分布する。オーストラリアからパプアニューギニア、インドネシアにかけての一带には特に多くの種がみられる。南北アメリカやヨーロッパには分布せず、日本国内にも分布しない。

「大型トカゲ類」と「オオトカゲ類」は同一ではない。オオトカゲ類の中にも小型のヒメオオトカゲ類がいる一方で、イグアナ科のグリーンイグアナなど、オオトカゲ類ではないが全長 1 m を超える大型のトカゲ類もある。

(1) 外部形態の特徴

オオトカゲ類の外部形態の特徴として、以下の点があげられる。

- 1) ヘビ類のように先端部が二股に分かれた細長い舌を持つ。この舌は、基部と端部で構造が異なる 2 つの部分からなっている。ヘビ類のように舌を突き出して上下に振り動かす行動をとる。空中のにおい物質を捉えるためである。先端部が二股に分かれた舌を持つトカゲ類として他にカナヘビ類やテユ類があるが、これらの舌は端部が基部と異なる構造をしていない。また、これらの分類群では胴部を覆う鱗は腹面と背面で大きさが不連続になっている。



(ミズオオトカゲ)



(イワオオトカゲ)

オオトカゲ類はヘビ類のように二股に分かれた舌を持つ（図 2）。また、その基部は端部と構造が異なっている。



(アオカナヘビ)

カナヘビ類はオオトカゲ類にやや似た二股に分かれた舌を持つが、頭部、頸部、脇、背部などの鱗の大きさが極端に異なる。頭と頸、背と脇などにかけて、鱗の大きさが不連続に変化する。

- 2) 体はほぼ一様に細かい鱗で覆われており、背と腹で鱗の形が大きく異なることはなく、多少変化する場合にも、徐々に大きさが変わる（カナヘビ類などでは、背から腹にかけて鱗の大きさが不連続に変わる）。頭の鱗が体の鱗よりも極端に大きいことはない。グリーンイグアナのような発達したタテガミ状の突起や、デュラップ（喉にある扇状のひだ）を持つ種はいない。ただし、興奮した際などに喉を膨らませることはある。



(ミドリホソオオトカゲ)

オオトカゲ類の鱗はほぼ一様に細かく、頭部、頸部、腹部の間で形や大きさがそれほど違わない。うなじの鱗が大型化する種もいるが、鱗の大きさは連続的に移り変わる。



(グリーンイグアナ)

グリーンイグアナは大型のトカゲ類である。オオトカゲ類と異なり、頬の大型の鱗、背面のタテガミ状の鱗など、体の部位による鱗の変異が著しい。

3) トカゲ類 (有鱗目トカゲ亜目) としては標準的な体型をしており、首が比較的長くて頭部は小さく、四肢はよく発達し、強い爪がある。胴の断面は概ね円形であり、ヤモリ類のように上下方向に極端に扁平な種や、キノボリトカゲのように左右方向に極端に扁平な種はいない。尾は長く先は細い。



(ナイルオオトカゲ)

オオトカゲ類は首が比較的長くて頭部は小さく、四肢はよく発達する。尾の断面の形は種によってさまざまである。概ね円形のもの (サバクオオトカゲ、サバンナオオトカゲ) もいるが、このナイルオオトカゲでは強く側扁している。

(2) 各部名称及び識別ポイント図解

オオトカゲ類は現在約 60 種に分類され、2000 年以降も相次いで新種が記載されていて、分類の難しいグループと言える。色彩変異の多い種もあり、種をきちんと特定するためには、鱗などの細かい形態を精査する必要がある。

【識別ポイント】

識別ポイントとしては、以下の 3 点が挙げられる。本マニュアルでは、これらのポイントごとに、種の識別について解説する。

- ①頭部の形態 (特に鼻孔の位置と形)
- ②鱗の形態、尾の断面の形
(ほぼ円形の種と、側扁する (=左右方向に扁平となる) 種がある)
- ③体色と模様

【ポイント図解】

以下の図解により識別のポイントを説明する。なお、P15 以降の種別の説明資料中でも引用している。

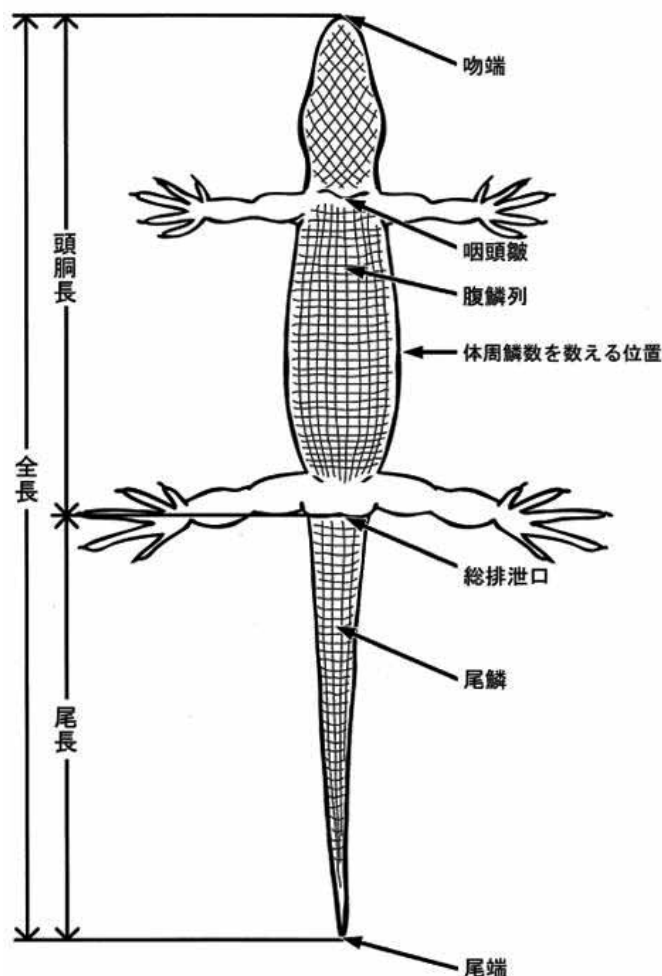
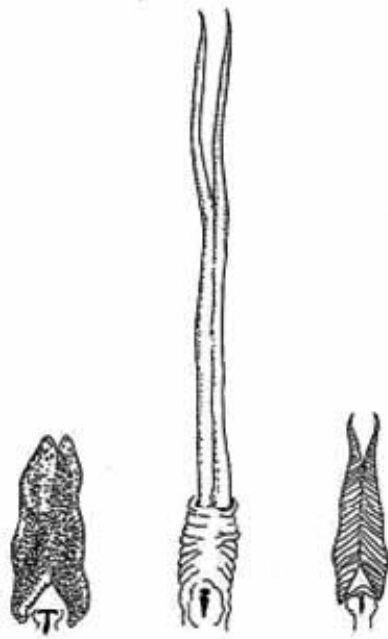
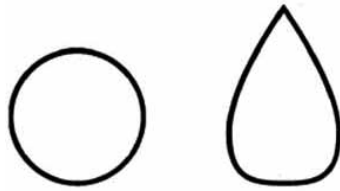


図 1. オオトカゲ類の外部形態 (腹面から見たところ)



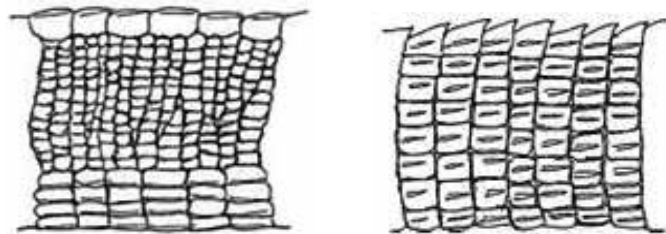
スキンク科 オオトカゲ科 カナヘビ科

図2. トカゲ類の舌の形状の比較



A) 断面が丸い尾 B) 断面が側扁した尾

図3. 尾部の断面の形状



A) 環状に配列しない尾鱗
(デュメリルオオトカゲ)

B) 環状に配列する尾鱗
(トゲオオトカゲ)

図4. 尾部の鱗列の特徴 (左側面から見たところ)